

子育て奮戦記



濱口 祐介さん
(2歳児 夏綸さん父)

夏綸は、平成26年7月22日の早朝に生まれました。しかし、その時、私は単身赴任で神奈川県に。仕事の都合をつけ、やっと会えたのは、24日の昼でした。その時の感動は今でも鮮明に覚えています。生まれた直後に、息をするのを忘れるくらい怒りながら泣いていた気性の荒い夏綸。少し大きくなって、大泣きの時は、息をせず失神する事もありました。今は一緒に暮らしていますが、育児には今でも戸惑う事ばかりです。夏綸にとってパパは遊び相手という位置づけらしく、家にいる時はひたすら追いかけてこやかくんぽ、お店ごっこ等をして遊んでいます。読み聞かせもママは一冊ですが、パパは際限なし、最近私が先に眠ってしまう事もしばしば。

仕事が忙しく、沢山遊んであげられないもどかしさがありますが、羨も大切に、親子で成長できたら良いと思います。

はじめての記念日



佐藤佐貴子さん
(1歳児 叶歩さん母)

入園時、立つのもやっとだった叶歩も今では走ったり、飛び跳ねたり。最近では言葉も出てくるようになりました。初めてしっかり「ママ」と呼ばれた時はとてもうれしかったのですが、私を「ママ」と呼ぶ聞きなれない言葉に、どこか恥ずかしい気持ちになった事を思い出します。

家では覚えた言葉でよくおしゃべりをしています。単語のなまっていたり、家族の誰かに似た口調だったりするので、聞いていて飽きません。音楽も大好きな叶歩。童謡、民謡、知らない音楽でも音を聞けばノリノリ♪愉快的な踊りも披露してくれます。この間、ヒーターの延長お知らせ音に、寝ているはずの叶歩が反応し、ムクッと起き身体を揺らしていました。(笑)いつも予想外の行動をとり、平凡な毎日を楽しませてくれる叶歩は、毎日が初めての記念日のように感じます。

3月生まれで小柄な叶歩ですが、それも感じさせないたくましい成長をこれからも一番近くで応援してあげたいと思います。

育児講座

小児の救急時における対応



米沢市立病院 小児科医
松木 惇先生を招いて

平成29年11月11日(土)に松木先生を講師にお招きして育児講座を開きました。20名以上の保護者の方が出席され、先生からは子どものよくある症状(発熱、嘔吐、腹痛、喘鳴、けいれん等)のホームケアや受診のタイミングをわかりやすく教えていただきました。発熱は夕方から夜にかけて上がりやすく、高熱でなくても元気がないときや機嫌の悪い時は受診した方が良いでしょう。やはり日頃の保護者や保育者の観察が大事なようです。参加された保護者の方からも「わかりやすかった。やさしそうな先生でよかった。」と好評で、おだやかな松木先生の人柄が感じられる良い講座だったと感じました。



給食室より



この野菜はな～んだ？

廊下には毎日給食で使用する色々な食材を展示してあります。普段なかなか触れる機会のない野菜や果物に触れ、形・匂い・大きさ・手触り・匂いなどを感じ、「食」への興味を持ってほしいという思いから始めました。実際に触れてみながら、目と鼻と手を使いじっくり観察することで、名前や触感などを知っていきます。この経験を積むことで、食材への興味を広げ、子ども達が「食べることが大好き」「なんでも食べるぞ」と思えるようになれば嬉しいです。



めんこ

興道親和乳児園

米沢市本町2丁目1-37
TEL 21-3755
FAX 21-3787
http://sinwa.@yb-koudou.jp



こうとうしんやにゆうじ之んのいちばんおおきい2さいじ14名のげんきなおともだち!



はじまりは愛着形成から

興道親和乳児園園長 聖山 宗徳

「お母さんが笑えば、子どもも自然と笑うのよー」こんな言葉のある保護者の方から教えてもらいました。なぜ、子どもは笑うのだろうか？

そんな疑問を持ちながら当園のつぼみ組(0歳児クラス)のお部屋に遊びに行った時のことです。

保育者が椅子に座り、赤ちゃんをしっかりと抱き抱えて、ミルクの授乳をしていました。赤ちゃんは、保育者の暖かいぬくもりを感じつつ、ミルクを飲みながら、目をこぼり、うとうとしていました。そしていつしか、赤ちゃんは保育者の腕の中で、やすやすと寝入ってしまったのです。

そんな光景を目にした時に、ハッとしました。

生まれたばかりの赤ちゃんにとってこの世の中は未知なもの。なぜなら、赤ちゃんの身体や視覚聴力などは未発達だからです。生まれたばかりの赤ちゃんがうるううと分るのは、明暗くらい。そんな状態のなかを、常に一緒にいて、赤ちゃんの気持ちになりきってお世話をしてくれるお母さん。そんなお母さんの愛情をたっぷり受けた赤ちゃんは、情緒も安定し、いつもいる環境の中で、自発的な行動ができるようになっていきます。

自発的な行動ができるということは、それだけ、子どもが安心して遊びを通して自己発達をし、環境に適応している証拠でもあります。

「お母さんが笑えば、子どもも笑う」とは、何かおもしろい事があったから一緒に笑うのではなく、安心してこの身を任せられる人、つまり、子どもにとって自分の気持ちを理解してくれる人が笑っている事への嬉しさの現れなのです。

子どももお母さん(保護者)も、みんな笑顔になれる乳児園。これからも職員一同しっかりと皆さんをサポートしていきたいと思っております。

編集後記

今年は外遊びや室内遊びの中で『じぶんでできた!』の子どもたちの喜びや楽しさ、子どもたちの満足した表情がたくさん見ることができた一年でした。そして、子どもたちの姿をこの情報誌で伝えられることをたいへん嬉しく思っております。この情報誌を発行するにあたり写真、原稿などで協力いただいた保護者の皆様ありがとうございました。 記 桑原

さいたさいた みんなのえがお〜じぶんでできた!でえがおがいっぱい!

「じぶんで できた!」の
喜びをからだいっぱい
感じながら・・・

「じぶんで できた!」の喜びをからだいっぱいを感じながら・・・
子どもは、誰もが自ら育とうとする力、大きくなりたいという願いを持っていて、「じぶんで」何でもしたいと一生懸命努力します。
日々の保育の中で、子どもたちの「じぶんで、じぶんで」「できた できた」の感動は、喜び、嬉しさ、楽しさで満ち溢れ、
ひとりひとりの笑顔になります。
その笑顔こそが、心身共にすこやかで豊かな育ちにつながると信じ、私たちは、その笑顔を大切に見守りながら、子どもたちとかがわっています。



ワクワク、
ドキドキ、
楽しい園庭



くうちゅう
フランク!
さもちい〜!



いっぽんはしも
へっちらだよ!



どこで
たべようかな...



おともだちと
たべると
おいしい!

できたー!
できたー!
いっぱい



うみのすなは
さらさらだね。



たいこはしも
わたれるよ!



うわ〜!
ハンモック
さもちい!



がらがらうがい
はいきんはいはい!



ジャンパーも
ひとりで
きれよ!

手や指先をつかって
じつじつ遊ぶ
集中パワー



ゆびあみ
だれに
つくろうかな...



ホタンかけ
じょうずでしょ



このえほん
だいすき!
おもしろいな〜



えへへ...
よろしくね



これ
なんだろう...
なんだろう...



おっ!おっ!
なにができるかな?



ちいさいあなも
よ〜くみえるよ



おにいちゃん!
だいすき!



おふとんかけて
わんわだよ

みんな
一緒の中で育つ
心と体